

## 偏差値って何？

参考：ベネッセ教育情報サイト

偏差値とは、「その試験を受けた人の中で、あなたの成績がどのくらいの位置にあるか」を示す数値のことです。平均点をとった人の偏差値を50として平均点より得点が上なら偏差値は51、52…となり、得点が平均点以下ならば49、48…となります。成績を見るときは、得点、順位などを確認しますが、例えば国語が60点、英語が50点だった場合、国語の方がよい成績とは言えません。なぜなら得点は国語と英語の問題の難易度も影響するからです。ですが、偏差値では受験した集団の中での自分の客観的な学力位置がわかります。例えば、国語の偏差値が55、英語が50だったら国語の方がよい成績だと言えます。

## 偏差値の計算方法

$$\text{偏差値} = (\text{個人の得点} - \text{平均点}) \div \text{標準偏差} * \times 10 + 50$$

\* 標準偏差とは、得点の散らばり具合を表す数値。得点の散らばりが大きいほど、標準偏差も大きくなる。

標準偏差は平均点と同じく、模試や科目によって毎回値が異なる。

具体的に解説します。【例】Aさんの偏差値（得点60点 平均点50点の時）

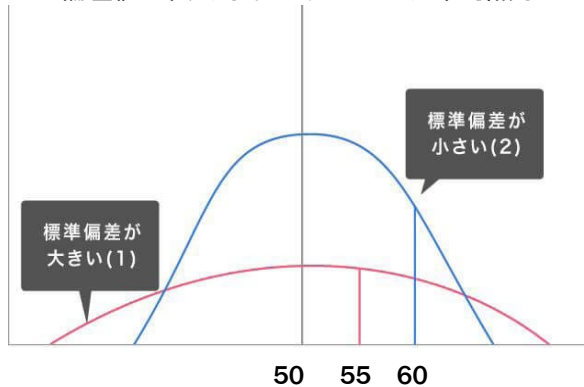
(1) 標準偏差20の場合

$$(60 - 50) \div 20 \times 10 + 50 = 55 \quad \leftarrow \text{Aさんの偏差値は55になります。}$$

(2) 標準偏差10の場合

$$(60 - 50) \div 10 \times 10 + 50 = 60 \quad \leftarrow \text{Aさんの偏差値は60になります。}$$

偏差値が50より大きい場合には、同じ得点・平均点であっても、標準偏差（得点の散らばり）が大きいほど偏差値は低くなります。また、平均点ならば標準偏差に関わらず偏差値は50となります。



偏差値が50より大きい場合には、同じ得点・平均点であっても、標準偏差（得点の散らばり）が大きいほど偏差値は低くなる。また、平均点ならば標準偏差に関わらず50となる。

## 偏差値の数値が示すのは…

右の表を見てください。自分の成績は今どのあたりの位置にありますか。そして、自分の志望する大学の偏差値を見てください。自分の偏差値との差はどのくらいありますか。

偏差値は、志望する大学に合格するために、あと何点必要で、あとどれだけ偏差値を上げる必要があるのか認識できる便利な指標です。各教科ごとに自分の強み・弱みもわかります。偏差値を参考に、具体的な学習計画を立てることをおすすめします。

偏差値	上位からの割合
75	0.62%
70	2.28%
65	6.68%
60	15.87%
55	30.85%
50	50%
45	69.15%

## 自律した学習者になろう

4月29日から連休です。学校生活が1ヶ月すぎ、のんびり休みたいところかと思えます。しかし、各教科から課題が出され、5月11日(水)には定着テストがあり、休んでばかりはいられません。連休は、学習にがっちり取り組む時でもあります。しかし、その学習は、教員や親など、誰かから「やらされる」ものになっていませんか。なぜ学習する必要があるのか自分に問いかけてください。そして、どのように学習すればいいのか、自分の方法を見つけなければなりません。試行錯誤しながら、自分にとって最適な学習方法を探していきましょう。以下に、学習方法の例をあげておきます。参考にしてみてください。



### 1 授業は全部理解する！という気持ちで授業に臨もう。

#### \*授業で学習した内容のどの部分を復習すべきかチェックする。\*

理解したかどうかあやふやなところは早め早めに対処しましょう。そのためにも授業では復習すべきところを意識することが大切です。

#### \*授業では「どこがテストに出るか？」を予想する。\*

先生方が授業で強調するところは、当然大切な内容です。教員は、理解してほしいところを強調し、理解しているか確認するためにテストに出題するのです。模試の問題で、正答率が低い問題を間違っていないか。そうした問題は授業でも気を付けるよう先生が指摘しているはず。大切な内容をとりこぼさないよう、先生の意図を読み解く気持ちで授業に臨みましょう。

### 2 問題の解説をきちんと読む！先生に聞くのはそれからだ！

演習問題などでわからない問題がある場合、自分で考えることは大切ですが、自分ひとりでは限界があります。先生にばんばん聞いてよいのです。しかし、聞く前に解説を読みましょう。「解説の〇〇がわからない」というように、解説を読んで自分で考え、自分のわからない部分を明確にすることが、より早い解決につながり、先生からの説明も、より納得のいくものになります。

### 3 暗記ものは繰り返し！同じ日に最低2回、翌朝1回、次の日もやる！

暗記するためには繰り返し学習することが大切ですが、暗記を確実なものにするためには、何日かかけて学習することです。睡眠をはさむことで記憶が強化されると言われています。

### 4 演習問題はすぐにやる！

理解を確実なものにするために、授業で学んだことを忘れないうちにワークなどの演習問題に取り組みましょう。Strike the iron while it is hot. 鉄は熱いうちに打つのです。

このほかにも、学習へのやる気の保ち方など、自分でいろいろ試してみましょう！

### 3年生の皆さん、チェックしてみましょう 参考：蛍雪時代4月号

- |  |   |                        |
|--|---|------------------------|
| <input type="checkbox"/> 志望校がまだ決まらず、 <b>ゴール設定</b> が甘い      | → | 目標を定める！                |
| <input type="checkbox"/> 過去問を見たことがなく、 <b>必要な学力</b> を実感できない | → | 戦う相手のレベルを知る！           |
| <input type="checkbox"/> 自分の <b>学力到達度</b> をきちんと把握していない     | → | 自分を分析して戦略をねる！          |
| <input type="checkbox"/> 勉強する科目・内容は、そのときの <b>気分で決める</b>    | → | 何をいつまでに終わらせるのか意識する！    |
| <input type="checkbox"/> <b>計画</b> を途中で放棄したり、修正できなかつたりする   | → | 無理のない計画を立て、小さな達成感を重ねる！ |

チェック回した項目はそれぞれ受験勉強の「無駄」につながる要因です。この連休はこうしたことを見直すよい機会です。志望する大学の過去問や共通テストを解き、自分の実力を認識することもとても大切です。連休を楽しむのとあわせて、有意義なものにしましょう。